

# JRC部の全国大会出場が新聞掲載されました①

平成29年9月23日（土）朝日新聞朝刊 【尾張版】

## 杏和高、3年連続で手話甲子園へ



手話で「つながる」と表現する  
杏和高の飯田真世さん（右）と  
荒木麻生さん＝稲沢市役所

10月1日に鳥取市で開かれる「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」に、稲沢市の杏和高校が3年連続で出場する。手話を使った表現力などを競う大会で、生徒らは「初優勝を目指す」と意気込んでいる。

大会は、手話を使った歌や演劇、ダンスなどを披露し、手話の正確性や演出などを競う。「手話言語条例」を初めて制定した鳥取県で3年前に始まり、今年で4回目。

杏和高校はボランティア活動などをするJRC（青少年赤十字）部の9人が出場する。全国

演劇やダンス 「初優勝めざす」

### 桜花学園・岡崎東も出場

54チームが応募した予選を通過し、本選出場の20チームに入った。同部は第2回大会から毎年本選に出場している。

今回はデイズニーシーのショーを再現した演劇やダンスに挑戦する。2年の飯田真世さん（17）は「全員で合わせる最後のダンスが見どころ。耳の不自由な人もそうでない人も巻き込んで楽しいパフォーマンスをしたい」と意気込みを語った。

県内からは岡崎東高、桜花学園高（名古屋市）も出場する。

（中野龍三）